



厚生労働省 医政局長賞

チラシ部門 特別賞

紹介状なし大病院受診時定額負担の周知

～よくわかる 診療所と病院の使い分けガイド～

全国健康保険協会富山支部

取組の経緯について

加入者が良質かつ効率的な医療を享受するためには、**医療機関が本来果たすべき役割に注力できる環境を整えることが不可欠。**

そのためには、加入者に**医療機関の機能分化を意識した受診行動（いわゆる「上手な医療のかかり方」）を広める**ことが重要と認識。

事業の概要と特徴

導入部分では、**興味を喚起しつつ記憶に残りやすい漫画を使用することで簡単に説明し**、詳細部分では図解や対話形式を用いて、**大病院と中小病院・診療所が互いに連携し、特徴を活かして地域の医療を支えていることを正確に表現。**

定額負担の実施が義務付けられている医療機関のうち、約半数の医療機関から希望があり、計7,250部を提供。また、ジオターゲティング広告は15,000人が閲覧。

医療のかかり方を変えていくポイント

アンケート調査では、**以前に定額負担を支払ったことがある方のうち、82.2%（90人中74人）が「身近な中小病院や診療所を利用したい」、90.0%（90人中81人）が「かかりつけ医をもちたい」と回答。**

定額負担が創設された背景等を理解いただければ、医療のかかり方は必ず変わるはずであり、その一助となるべく引き続き取り組む。

●リーフレット



全国健康保険協会 富山支部



紹介状なしで大病院を受診すると「特別の料金」がかかります。詳しくは、この冊子をご覧ください。詳しくは、この冊子をご覧ください。

●ランディングページ



●バナー

